

附 属 資 料

- 1 川崎市環境審議会・公害対策部会の審議概要
- 2 川崎市環境審議会 委員名簿
- 3 川崎市環境審議会 公害対策部会 委員名簿
- 4 諮問文

川崎市環境審議会・公害対策部会の審議概要

（今後の水環境保全のあり方について）

年 月 日	内 容
第 1 回環境審議会 平成 2 3 年 7 月 1 9 日	諮問：今後の水環境保全のあり方について
環境審議会 第 1 回公害対策部会 平成 2 3 年 9 月 7 日	議事：今後の水環境保全のあり方について （ 1 ）公害対策部会の進め方について （ 2 ）水環境の現状と課題
環境審議会 第 2 回公害対策部会 平成 2 3 年 1 1 月 1 4 日	議事：今後の水環境保全のあり方について （ 1 ）第 1 回公害対策部会における主な意見 （ 2 ）良好な水環境の保全に向けて取り組むべき施策の基本的考え方 （ 3 ）今後の水環境保全のあり方について（骨子案）
環境審議会 第 3 回公害対策部会 平成 2 4 年 1 月 1 3 日	議事：今後の水環境保全のあり方について （ 1 ）第 2 回公害対策部会における主な意見 （ 2 ）今後の水環境保全のあり方について（報告案）
第 3 回環境審議会 平成 2 4 年 2 月 1 6 日	議事：今後の水環境保全のあり方について

第4期 川崎市環境審議会委員名簿

(50音順、敬称略)

番号	氏名	所属等	専門分野等	備考
1	飯田 和子	川崎・ごみを考える市民連絡会代表	市民代表	
2	石井 誠一郎	川崎市医師会理事	市民代表	
3	石川 幹子	東京大学大学院工学系研究科教授	環境デザイン	
4	伊藤 治	市民公募(緑・公園分野)	市民代表	
5	宇都宮 深志	東海大学名誉教授	行政学・環境行政	
6	大迫 政浩	(独)国立環境研究所循環技術システム研究室室長	環境工学	
7	岡野 誠志	市民公募(公害分野)	市民代表	
8	小倉 紀雄	東京農工大学名誉教授	環境科学、水環境保全学	臨時委員
9	落合 由紀子	東海大学教養学部准教授	経済政策、環境経済学	
10	加藤 邦彦	市民公募(廃棄物分野)	市民代表	
11	神戸 治夫	川崎公害病患者と家族の会顧問	市民代表	
12	窪田 亜矢	東京大学大学院工学系研究科准教授	都市デザイン	
13	桑原 勇進	上智大学法学部教授	環境法、行政法	
14	小西 淑人	(株)エフアンドエーテクノロジー研究所代表取締役	作業環境管理学	
15	坂本 和彦	埼玉大学大学院理工学研究科連携教授	環境科学、エアロゾル化学	
16	佐藤 能央	川崎商工会議所議員	市民代表	
17	澁谷 哲夫	市民公募(廃棄物分野)	市民代表	
18	島岡 功	市民公募(緑・公園分野)	市民代表	
19	進士 五十八	東京農業大学名誉教授	環境学、造園学	会長
20	杉田 進	川崎市全町内会連合会 常任理事	市民代表	
21	杉山 涼子	富士常葉大学社会環境学部教授	社会工学	
22	鈴木 誠	東京農業大学地域環境科学部教授	造園学	
23	田瀬 則雄	筑波大学大学院生命環境科学研究科教授	水環境学、地下水流動系	臨時委員
24	立川 勲	セレサ川崎農業協同組合 代表理事副組合長	市民代表	
25	中杉 修身	元上智大学大学院地球環境学研究科教授	環境工学	臨時委員
26	中山 育美	市民公募(公害分野)	市民代表	
27	藤井 修二	東京工業大学大学院教授	建築環境工学	副会長
28	藤田 由紀子	専修大学法学部准教授	行政学、公共政策	
29	藤吉 誠一郎	川崎地域連合副議長	市民代表	
30	藤吉 秀昭	(財)日本環境衛生センター 常務理事	廃棄物処理工学	
31	南 佳典	玉川大学農学部教授	群集生態学、環境動態学	
32	吉門 洋	埼玉大学大学院理工学研究科教授	大気汚染気象学	

任期：平成22年3月1日から平成24年2月29日まで

(平成23年9月1日時点)

川崎市環境審議会公害対策部会委員名簿

(50音順、敬称略)

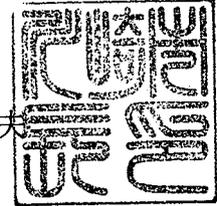
番号	氏名	所属等	専門分野等	備考
1	石井 誠一郎	川崎市医師会理事	市民代表	
2	岡野 誠志	市民公募(公害分野)	市民代表	
3	小倉 紀雄	東京農工大学名誉教授	環境科学、水環境保全学	臨時委員
4	神戸 治夫	川崎公害病患者と家族の会顧問	市民代表	
5	小西 淑人	(株)エフアンドエーテクノロジー研究所 代表取締役	作業環境管理学	
6	坂本 和彦	埼玉大学大学院理工学研究科連携教授	環境科学、エアロゾル化学	
7	佐藤 能央	川崎商工会議所議員	市民代表	
8	田瀬 則雄	筑波大学大学院生命環境科学研究科教授	水環境学、地下水流動系	臨時委員
9	中杉 修身	元上智大学大学院地球環境学研究科教授	環境工学	臨時委員
10	中山 育美	市民公募(公害分野)	市民代表	
11	藤井 修二	東京工業大学大学院教授	建築環境工学	部会長
12	藤田 由紀子	専修大学法学部准教授	行政学、公共政策	
13	吉門 洋	埼玉大学大学院理工学研究科教授	大気汚染気象学	副部会長

任期：平成22年3月1日から平成24年2月29日まで (平成24年2月16日現在)

23川環対第700号
平成23年7月19日

川崎市環境審議会
会長 進士 五十八 様

川崎市長 阿部 孝 夫



今後の水環境保全のあり方について（諮問）

川崎市環境基本条例（平成3年川崎市条例第28号）第13条第2項第2号の規定に基づき、標記の件について、貴審議会の御意見を伺います。

（諮問の趣旨）

本市では、これまで、水環境保全対策として法・条例による規制を行うとともに、「河川水質管理計画」及び「地下水保全計画」に基づき、水質の改善を主体とした施策を展開してきており、河川水質の改善等、一定の成果が得られているところです。

しかしながら、水環境は、主に水質、水量、水生生物、水辺地の4つの要素で構成されており、これらは相互に密接に関連しているため、更なる水環境の改善を図るには、4つの構成要素を総合的に捉えた計画的な施策の推進が必要と考えております。

また、近年の宅地化等土地利用の変化に伴い、平常時の河川流量の減少など健全な水循環が損なわれることにより、都市における良好な水辺環境が減少する等の問題が生じています。

これらの課題を克服し、良好な水環境を保全するために、今後の水環境保全のあり方について、貴審議会の専門的かつ幅広い見地から御意見を伺うものです。

（環境局環境対策部環境対策課・企画指導課）

電話番号 044-200-2519、2505